

ふるさと歴史アラカルト

名もなき隊士の弁当箱

明治維新と聞いてまず思い浮かぶのは、坂本龍馬、高杉晋作、吉田松陰、西郷隆盛、木戸孝允などの有名な人物たちではないでしょうか？歴史小説やテレビドラマを見ていると、彼らが大活躍し、まるで数人のヒーローが明治維新を起こしたというイメージを持つ人もいるかもしれません。

しかし当然のことながら、明治維新は有名な人物たちだけで行つたものではなく、その時代に生きた全ての人々によって成つたものです。近年は、これまであまり注目されていなかった当時の庶民の日記なども見直され、史料の調査も進んできています。今回は、その事例の一つともいえる史料を紹介します。

写真は通化寺^{つうけいじ}に保存されていた弁当箱です。通化寺には慶応2(1866)年の第二次長州出兵(四境戦争)の際、長州藩の諸隊の一つ「遊撃隊」の陣が置かれていました。同様のものが9つ残っていることから、当時の隊士が一般的に使用していた弁当箱であつたこ

とが分かります。

注目すべきは、その中のいくつかに墨で文字が書かれていることです。文字の内容はさまざまですが、持ち主の名前と思われるものや詩のような文章が書かれているものもあります。写真はその一つです。消えかかつて非常に読みにくいですが、次のように書かれているように見えます。

「バカジャく、トイワレテイテモ、ムネニタマシイガアリサエスレハ、イツカヨニデル。(馬鹿じゃ馬鹿じゃと言われている、胸に魂がありさえすれば、いつか世に出る。)」

このように、明治維新のころには歴史に名を残した人物たちだけでなく、多くの人々が懸命に生きていました。

新しい時代を夢見て、その思いを刻んだこの隊士がその後どうなったかを知るすべはありませんが、当時の人々の見たことや感じたこと、その思いを感じることのできる史料は、大変興味深く、有名な人物の書同様に貴重なものだといえます。

いわくにちようこかん 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)



▶当時の弁当箱



▶弁当箱の横には隊士の思いが書かれている

岩国市 人口・世帯

人口 138,028人 【前月比 - 158人】 男性 65,492人 女性 72,536人

世帯 66,098世帯 【前月比 - 42世帯】 ※外国人人口を含む(平成29年3月1日現在)

交通事故発生件数 2月分事故件数 46件(110件) 死者数 0人(0人) 傷者数 51人(132人)

※高速道路発生分を除く

※()内は平成29年累計

広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。 **テレホンサービス ☎231234**

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、広報戦略課広報班へ ☎295016 FAX213337